



大学院生活 2ヶ月目へ！！

大学院生としての生活も2ヶ月目となりました。「特別支援教育」「学級経営」「教職キャリアデザイン」「教育課程」「現代的な学力観」など、現職教員とストレートマスター（以下、ストマス）が同じ講義を受け、グループで話し合ったり、それぞれの意見を発表し合ったりする中で考えを深め合っています。現職教員は、これまでの経験を活かしながら、ストマスは、豊かな発想でお互いに高め合うことができています！！もちろん、講義では課題が出されません。課題については、次の週までにするものもあれば、発表テーマを与えられ期日までに発表原稿を仕上げなければいけないものもあります。論文や関係の文献を読み、今までになかった知識を取り入れたり、考えたことを発表したりしながら考えをより深めると共に、様々な教育課題に向き合い、自分の研究テーマをどういったものにするかについても考えているところです。



学校教育学研究科運営協議会が行われました

5月15日（火）、学校教育学研究科運営協議会が開催されました。会では、学校教育学研究科の運営に関して、外部の有識者との協議や院生3名の研究実践発表等が行われました。

院生3名は、1年目で理論分析してきたことや2年目で実践していくことについて、「レリバンス」「ミドルリーダー」「アセスメントからの支援」をそれぞれのキーワードとして発表しました。

運営協議会に参加された方からは、

- ・「どうして?」「なぜ?」と疑問を持てる子どもを育ててほしい。
 - ・若手教員の育成として、全ての学校で取り組めるシステム作りを考えてほしい。
 - ・支援が必要な児童生徒に対して、全ての教師が同じ意識をもって育てること、共通して取り組むことを「見える可」してほしい。
- など貴重なご意見をいただきました。



5月のサプライズ誕生日会

今年の1年生は、5月生まれが3人います。プレゼントやケーキを用意し、サプライズで誕生日会を行いました。講義以外の時間も、現職教員とストマスが共に過ごすことが多く、より良い関係が築けています。大学院生活が始まってまだ2ヵ月ですが、1年生（20名）全員で、毎日楽しく学びに向かっています。

